富士宮市立病院
2020年度多職種連携協働風土サーベイ
集計結果

2020年11月19日

多職種協働チームのヘルスケアサービスの質に対するインパクトの国際的実証研究

東京情報大学看護学部　　市川　香織

2020年調査概要

- 調査対象　富士宮市立病院に勤務する全部門、全職種、常勤、非常勤の全従業員
- 調査期間　2020年6月22日～7月21日
- 有効データ数　332件

基本統計- 1

項目	属性	人	（%）
年齢 n=332	20才代	71	21.4
	30才代	63	19.0
	40才代	93	28.0
	50才代	91	27.4
	60才代	7	2.1
	無回答	7	2.1
性別 n=332	女性	55	16.6
	男性	274	82.5
	その他	2	0.6
	無回答	1	0.3
常勤／非常勤 n=332	常勤	301	90.7
	非常勤	24	7.2
	無回答	7	2.1
経験年数 n=332	5年未満	82	24.7
	５年以上10年未満	50	15.1
	10年以上15年未満	37	11.1
	15年以上20年未満	26	7.8
	20年以上25年未満	35	10.5
	25年以上30年未満	34	10.2
	30年以上35年未満	41	12.3
	35年以上	16	4.8
	無回答	11	3.3

項目	属性	人	（%）
資格 n=332	医師	18	5.4
	薬剤師	12	3.6
	看護師	201	60.5
	助産師	1	0.3
	診療放射線技師	6	1.8
	臨床検査技師	11	3.3
	臨床工学技士	7	2.1
	理学療法士	7	2.1
	作業療法士	3	0.9
	言語聴覚士	1	0.3
	社会福祉士	3	0.9
	介護福祉士	1	0.3
	管理栄養士	4	1.2
	看護補助	22	6.6
	事務職	25	7.5
	事務技術職	3	0.9
	該当なし	4	1.2
	無回答	3	0.9

項目	属性	人	（%）
部門 n=332	診療部	19	5.7
	診療技術部	36	10.8
	薬剤部	15	4.5
	看護部	217	65.4
	事務部	24	7.2
	医療安全管理室	2	0.6
	感染対策室	1	0.3
	地域医療連携室	11	3.3
	該当なし	5	1.5
	無回答	2	0.6

基本統計-２（部署別内訳）

項目	属性	人	（%）
看護部門 n=217	2階病棟	6	2.8
	3A病棟	12	5.5
	3B病棟	10	4.6
	4A病棟	32	14.7
	4B病棟	15	6.9
	5A病棟	33	15.2
	5B病棟	13	6.0
	外来	24	11.1
	看護部	6	2.8
	手術室/中剤	17	7.8
	人工透析	13	6.0
	地域包括ケア病棟	4	1.8
	中央診療	11	5.1
	該当なし	4	1.8
	無回答	20	9.2
看護師ラダー n=180	レベル1	39	21.7
	レベル2	47	26.1
	レベル3	58	32.2
	レベル4	0	0.0
	管理職（主任・師長）	36	20.0

項目	属性	人	（%）
診療部 n=19	外科	4	21.1
	眼科	1	5.3
	産婦人科	1	5.3
	耳鼻咽喉科	3	15.8
	循環器科	3	15.8
	整形外科	4	21.1
	内科	1	5.3
	病理診断科	1	5.3
	放射線科	1	5.3
診療技術部 n=36	リハビリテーション科	10	27.8
	診療検査科	9	25.0
	中央放射線科	6	16.7
	臨床工学科	7	19.4
	栄養科	4	11.1

AITCS- II -J 平均点

2020サーベイ

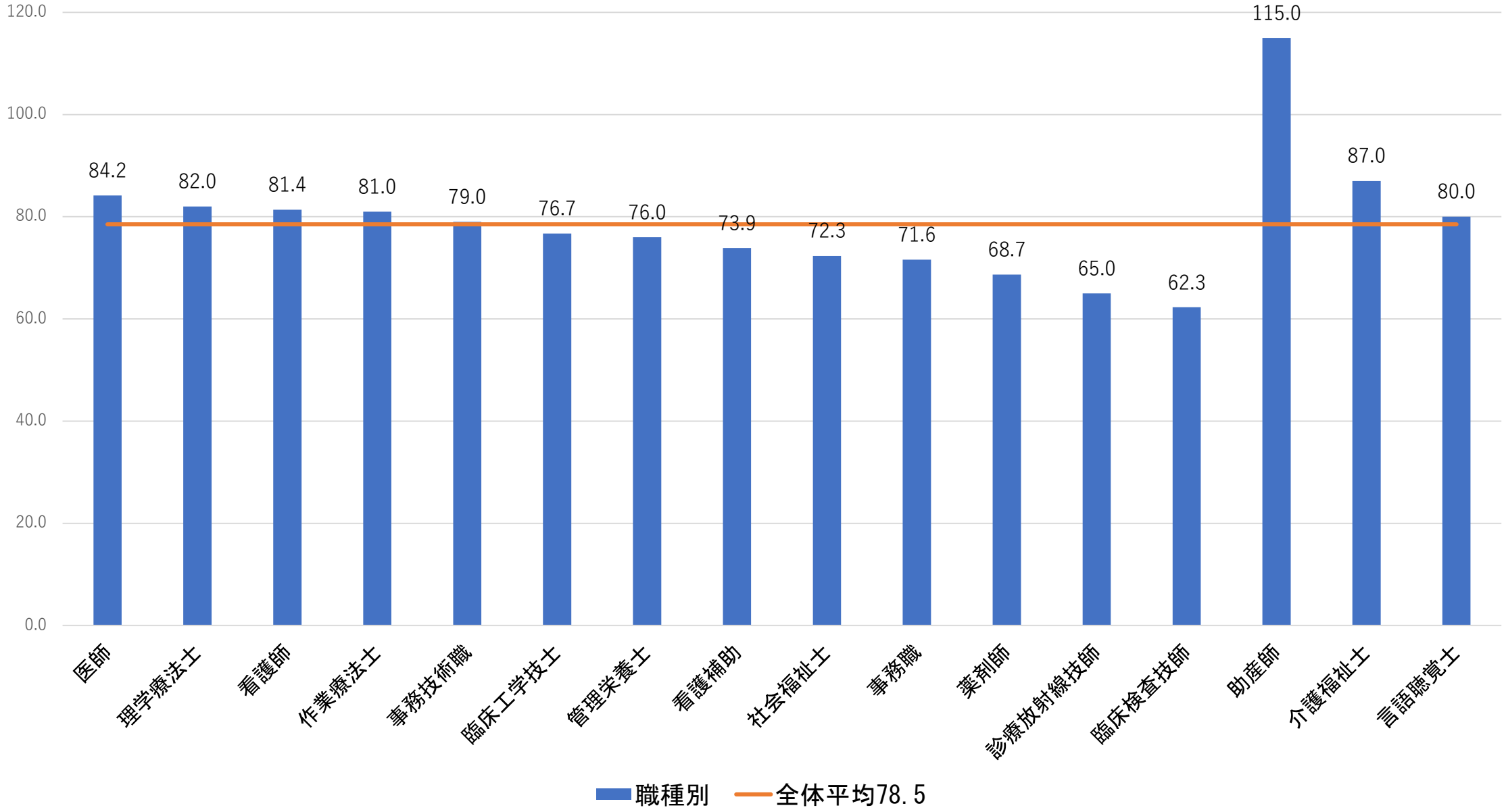
	平均点	標準偏差	n
AITCS-Ⅱ-J	78.50	15.81	332
パートナーシップ	27.10	7.292	332
協力	29.44	6.679	332
調整	21.97	5.310	332

2019サーベイ

	平均点	標準偏差	n
AITCS-Ⅱ-J	78.06	16.02	358
パートナーシップ	26.91	6.567	358
協力	28.94	6.685	358
調整	22.22	5.531	358

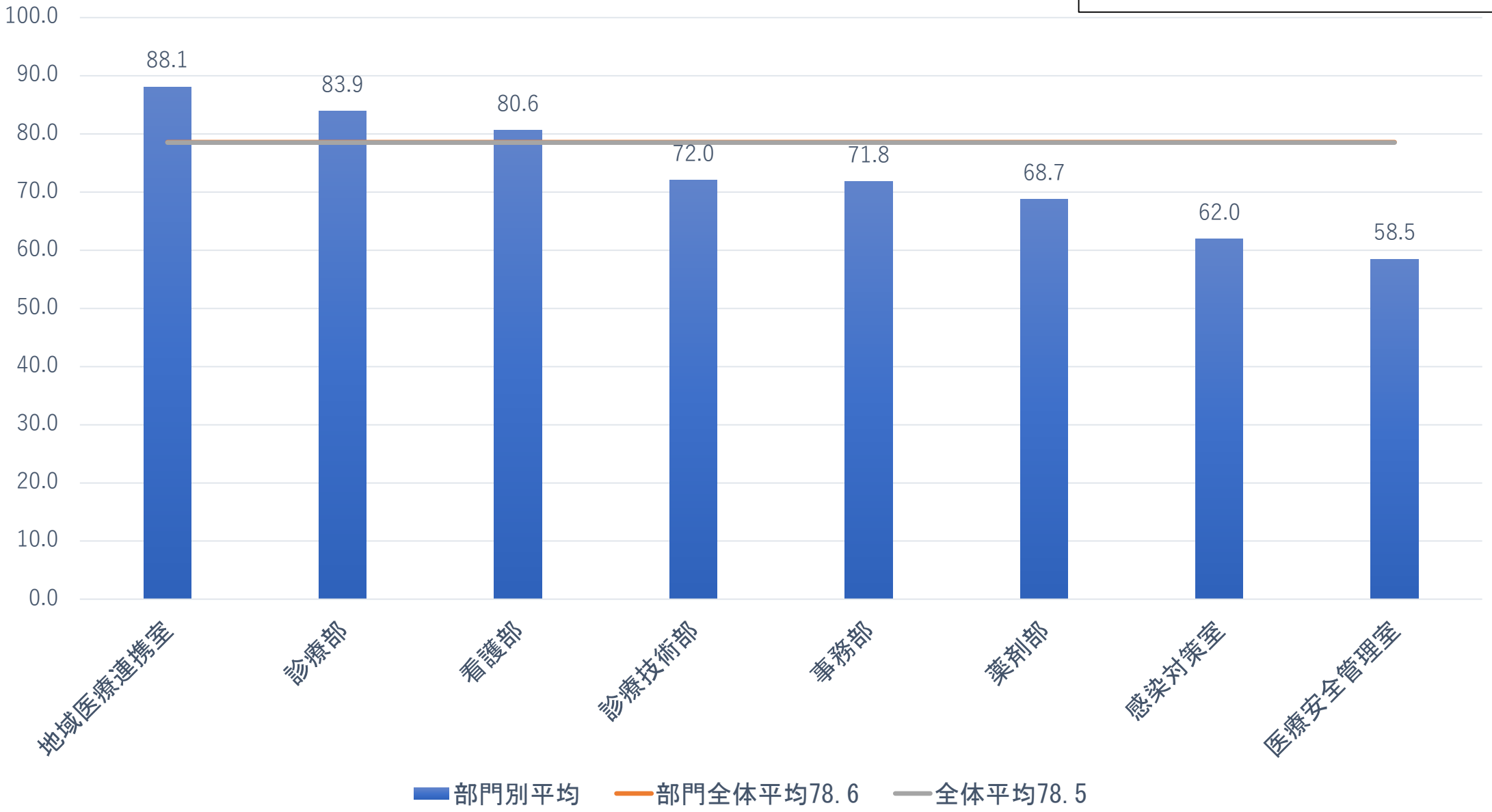
2020年　職種別AITCS- II -J平均点

※ただし、助産師、介護福祉士、言語聴覚士は各1名の回答結果

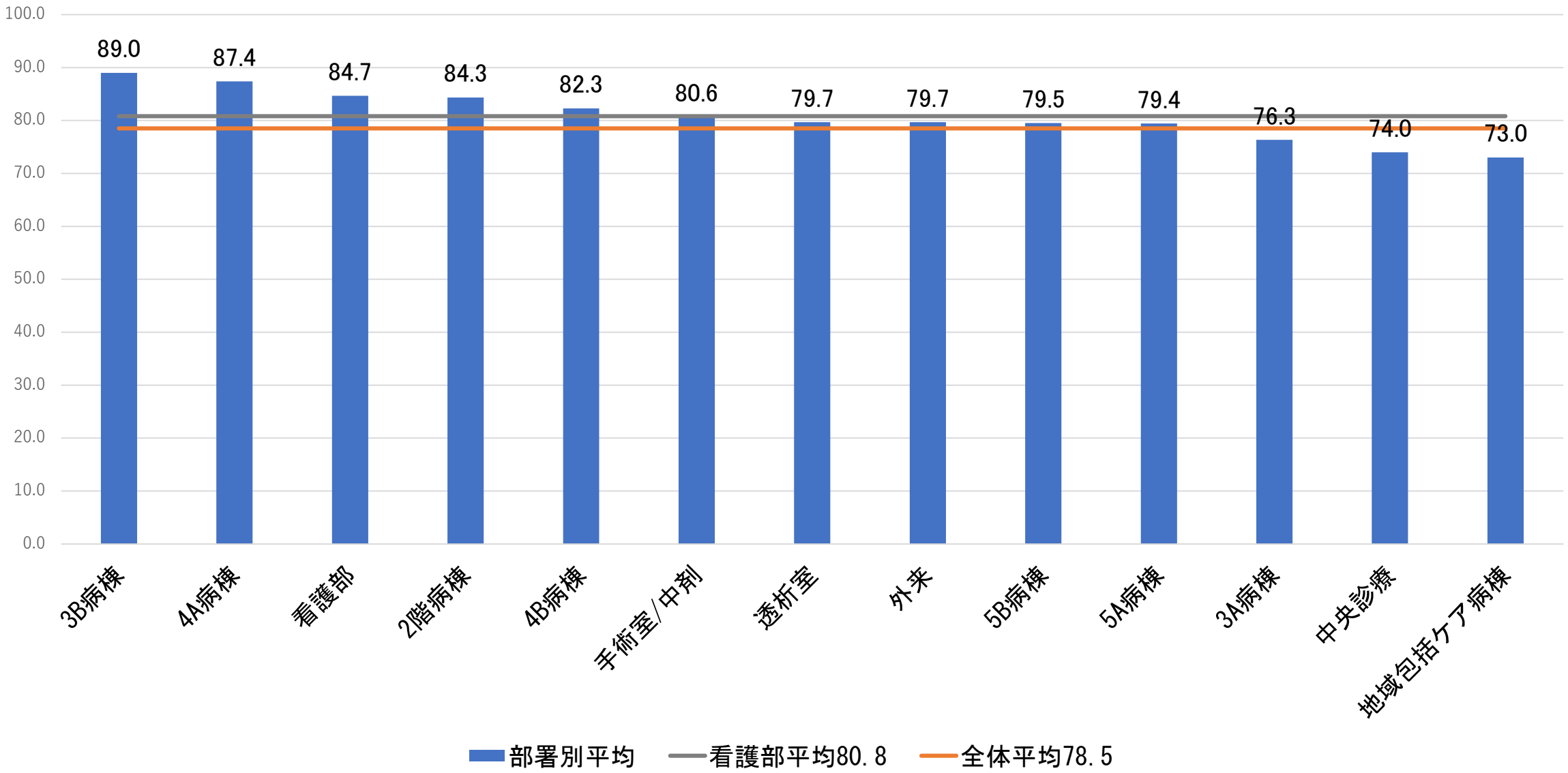


2020年　部門別AITCS- II -J平均点

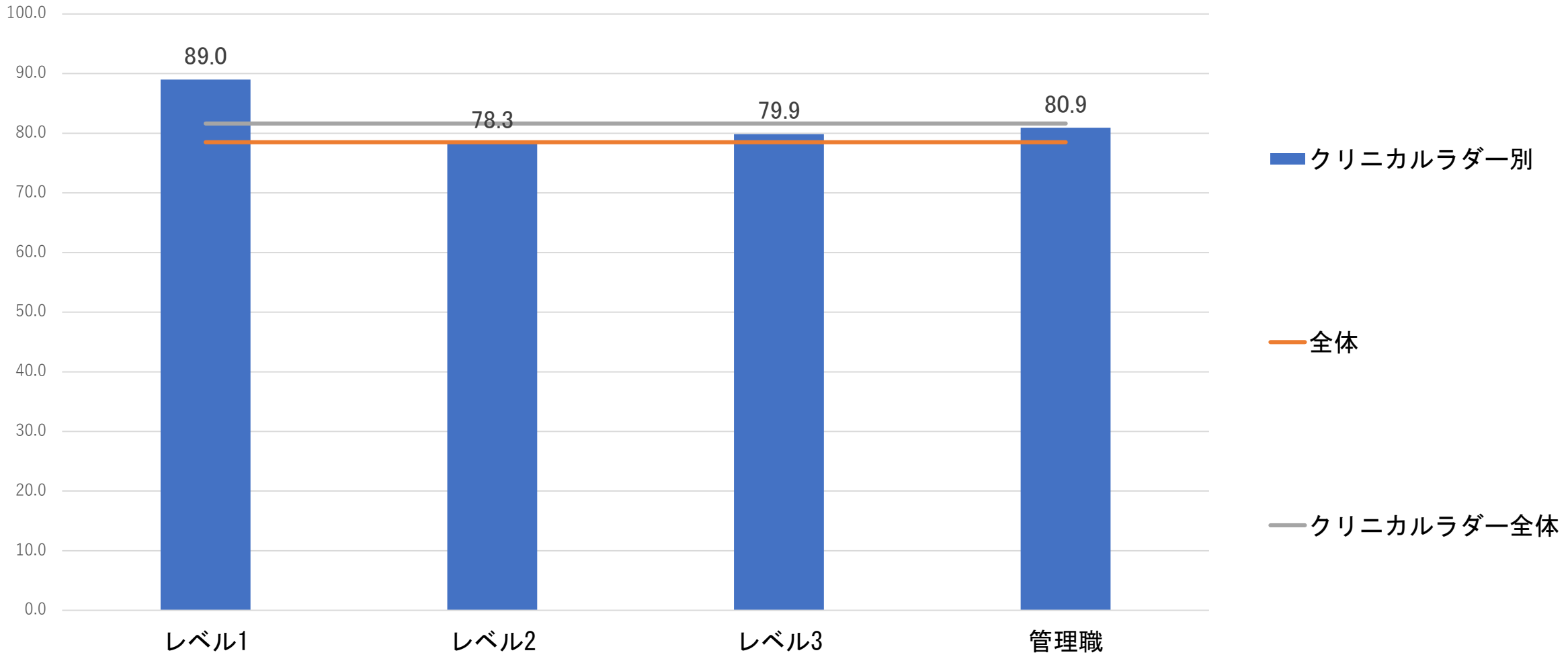
※ただし、感染対策室は1名、医療安全管理室は2名の回答結果



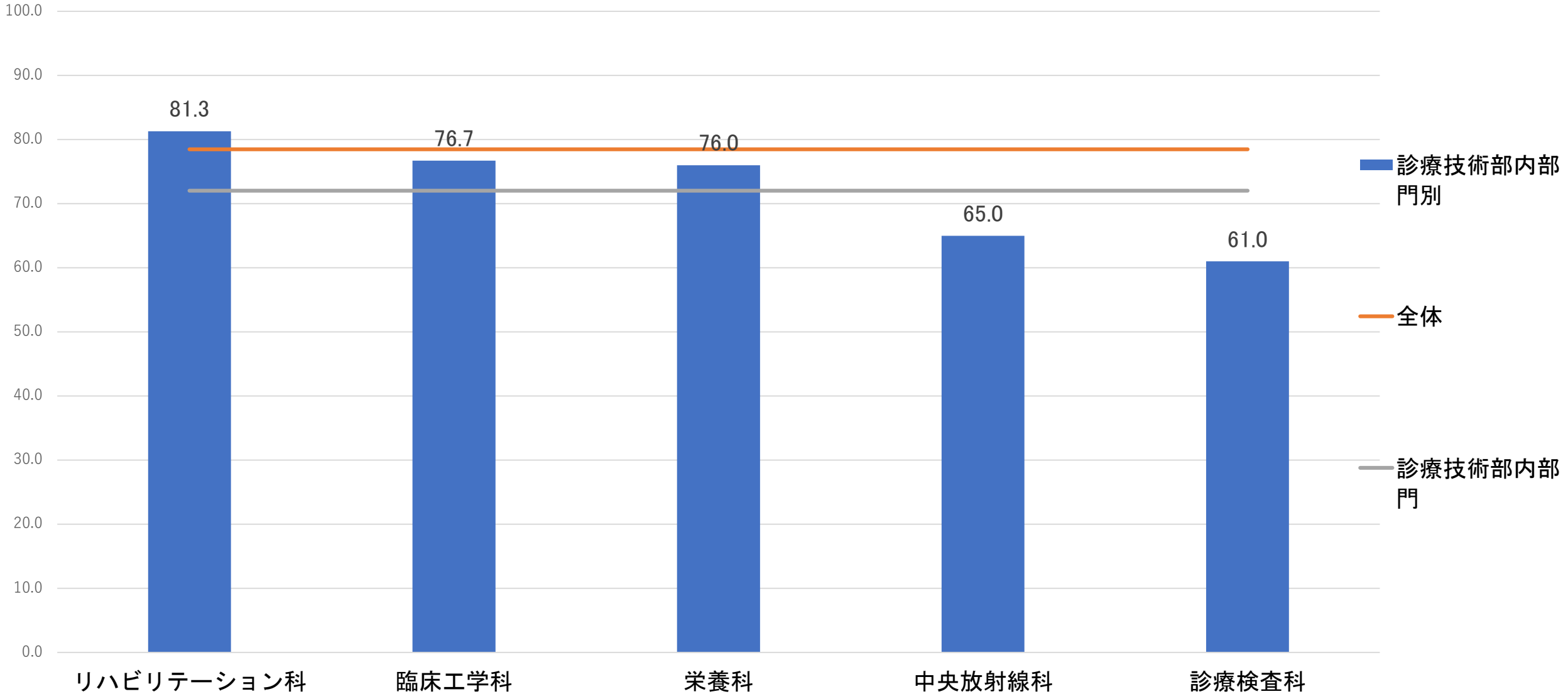
2020年　看護部部署別AITCS-Ⅱ-J平均点



2020年　クリニカルラダー別AITCS- II -J平均点

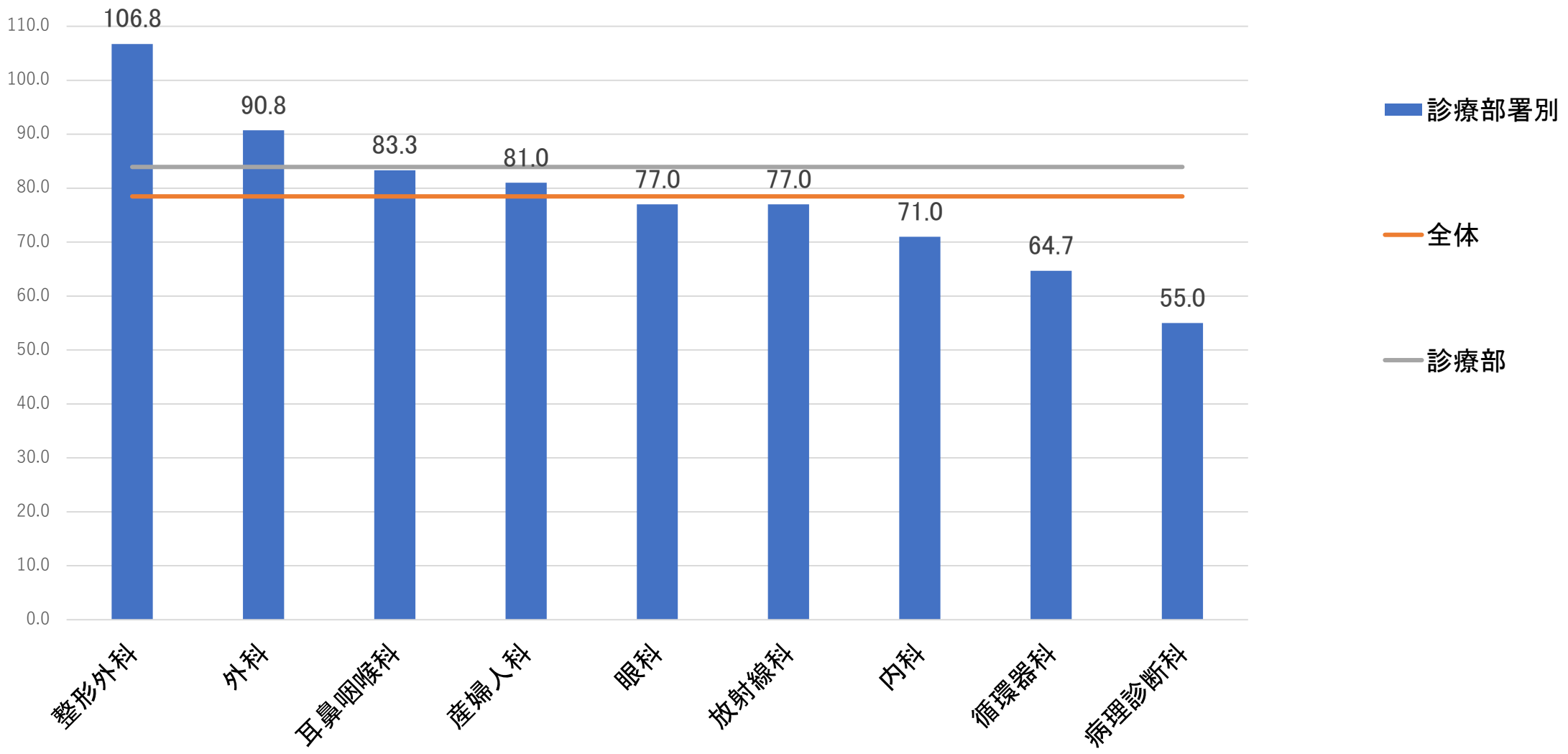


2020年　診療技術部内部署別AITCS- II -J平均点

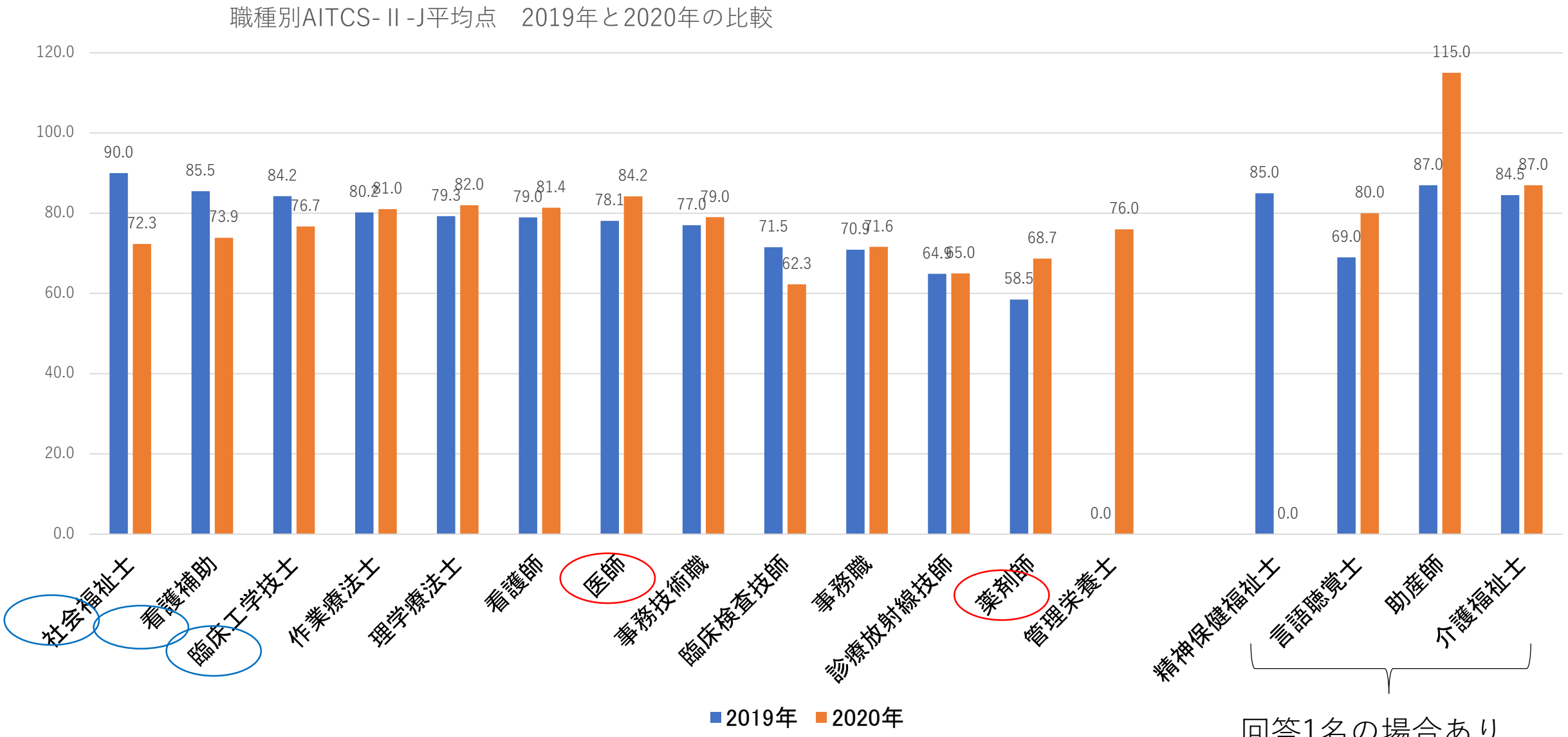


2020年　診療部内部署別AITCS- II -J平均点

※ただし、産婦人科、眼科、放射線科、内科、病理診断科は、各1名の回答結果

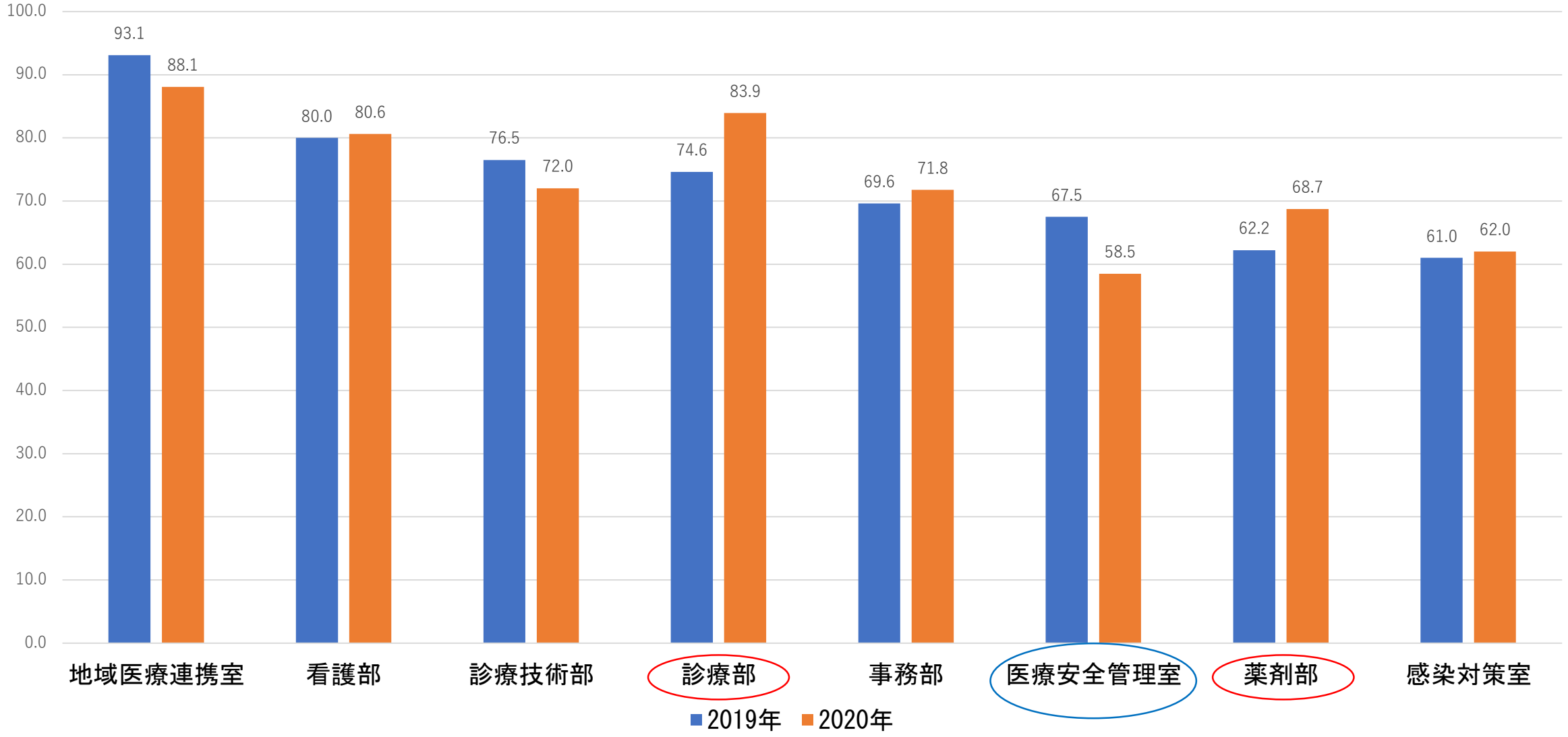


職種別AITCS-Ⅱ-J平均点　2019年と2020年の比較

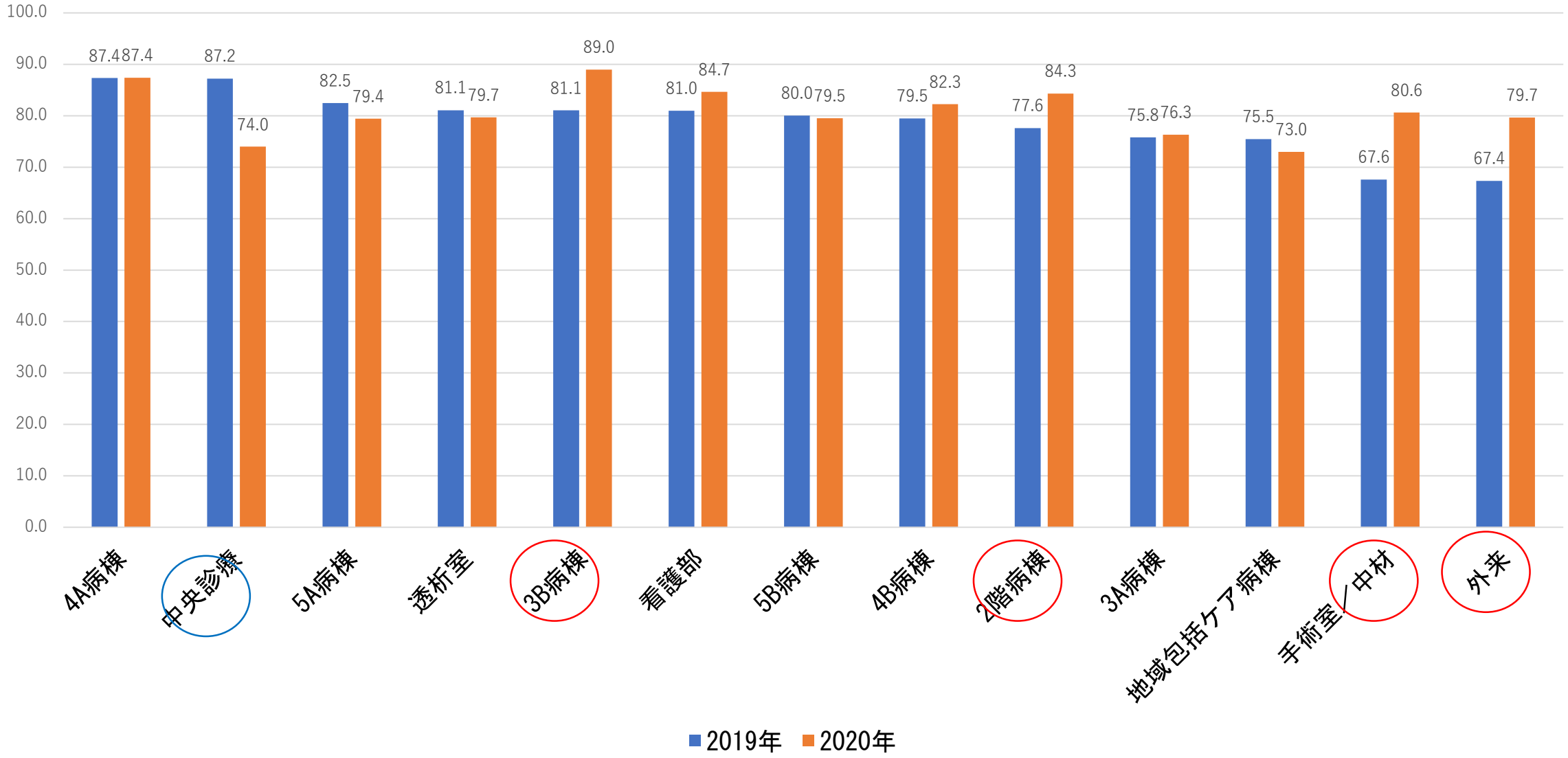


回答1名の場合あり

部門別AITCS- II -J平均点　2019年と2020年の比較



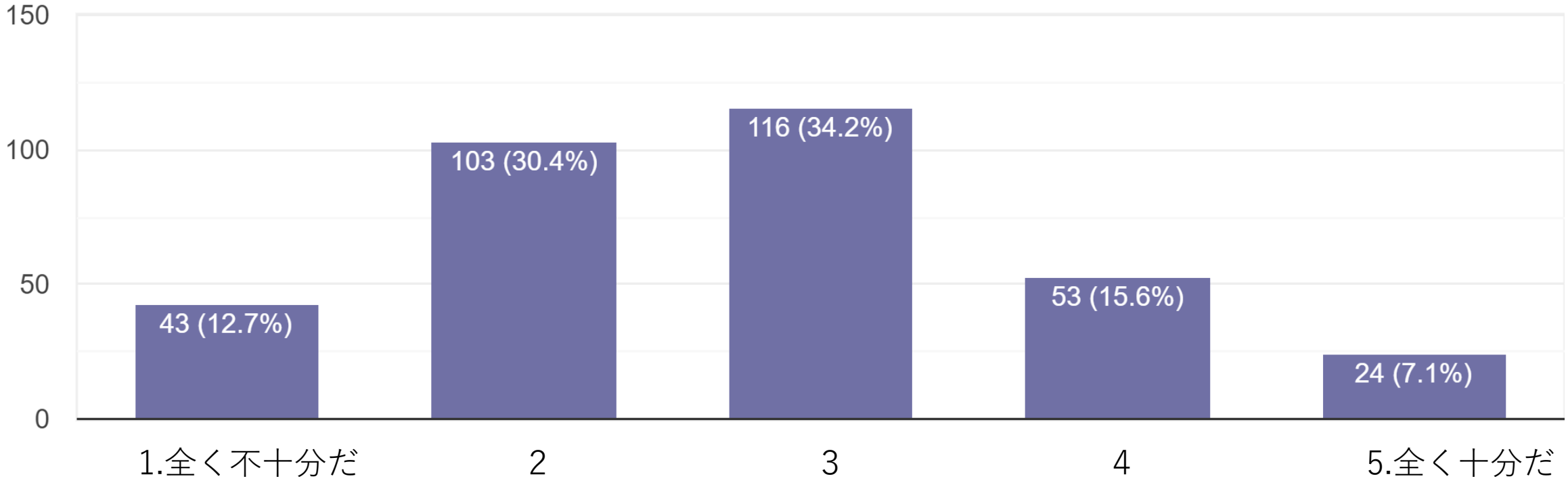
看護部部署別AITCS-Ⅱ-J平均点　2019年と2020年の比較



人材不足

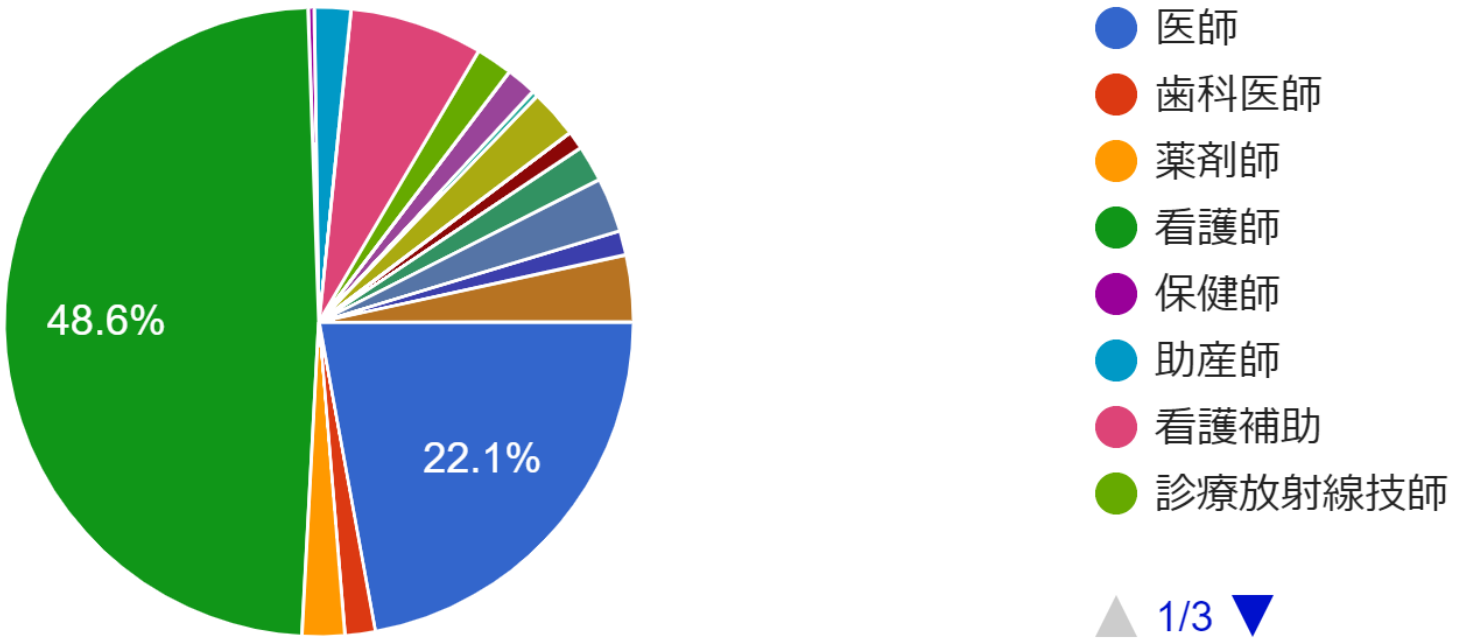
1.あなたの職場では医療専門職が十分に配置されていると思いますか。

339 件の回答



2.どのような資格を持つ人材が不足していると思…。最も不足していると思う資格を選んでください。

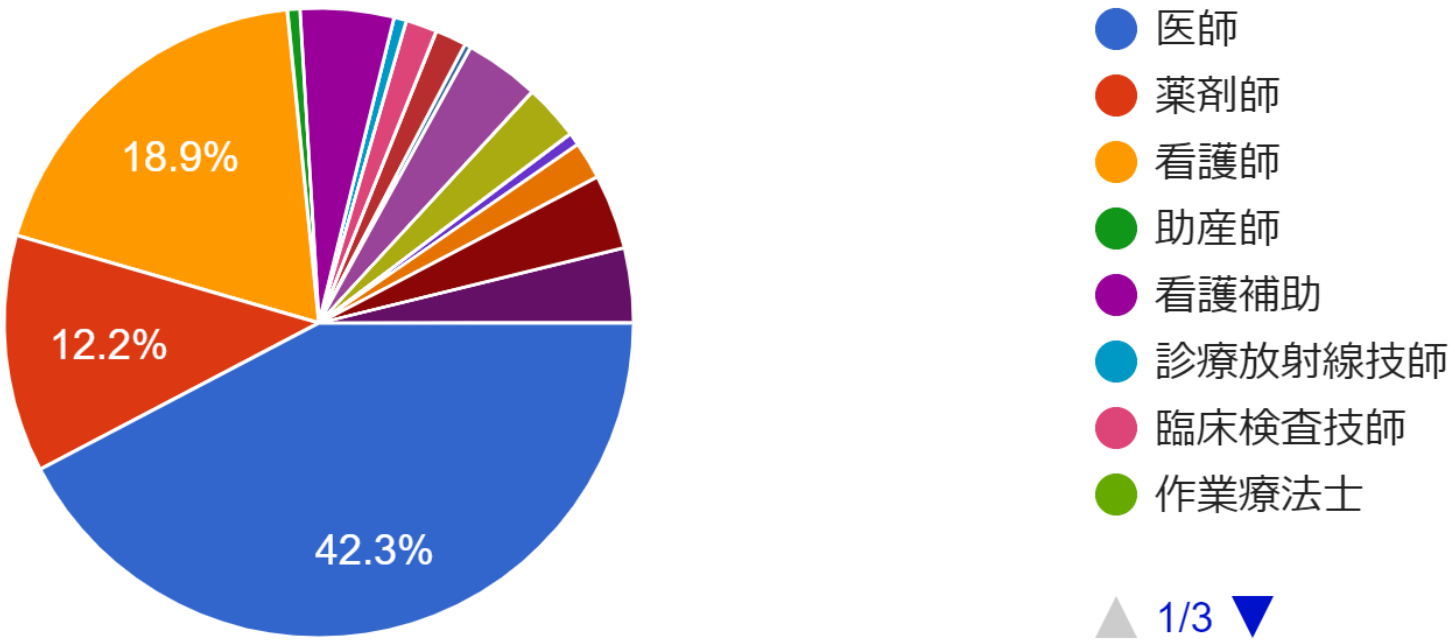
321 件の回答



最も不足していると思う資格は「看護師」（48.6%）、続いて「医師」（22.1%）であった。

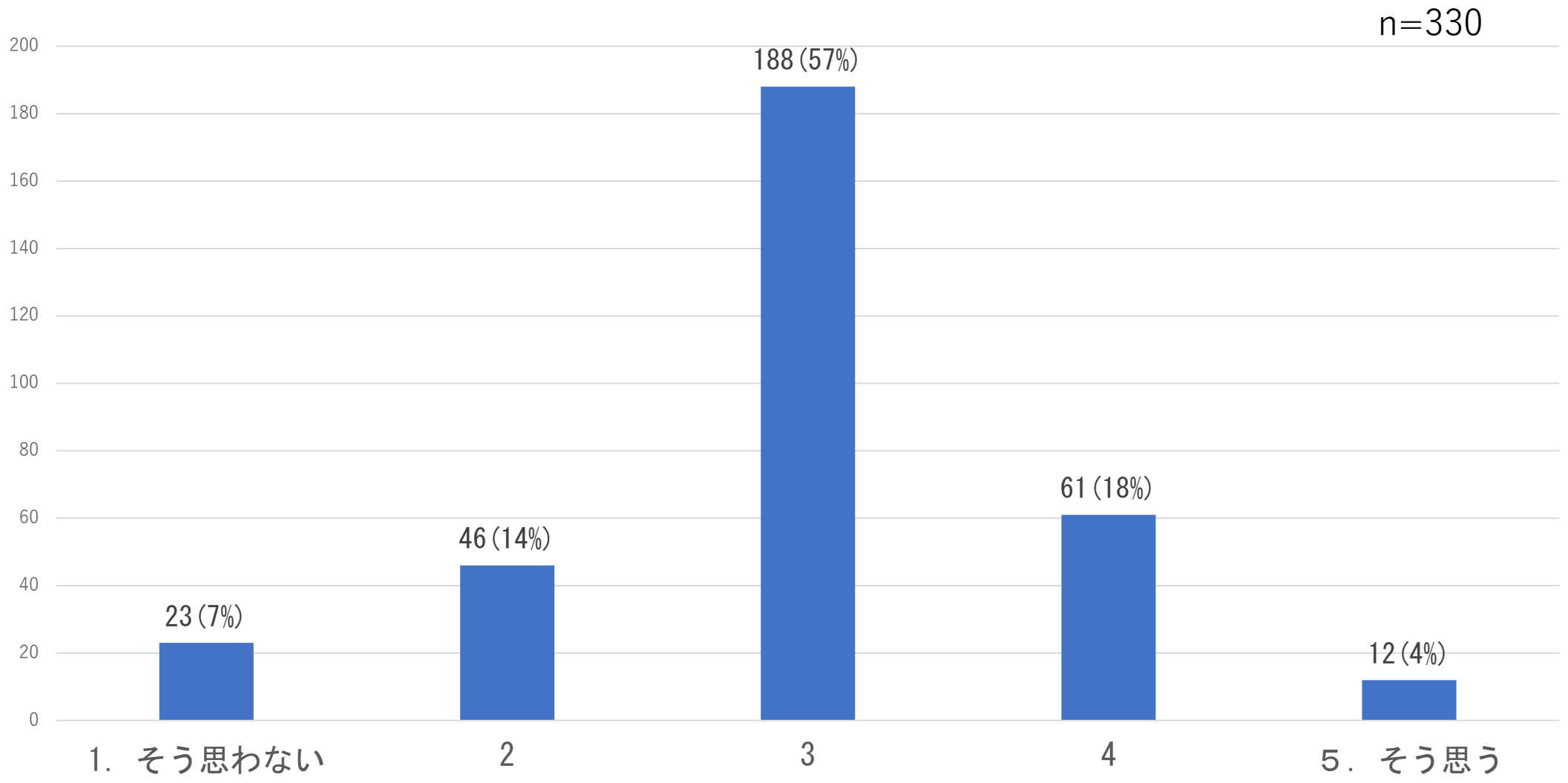
1.多職種協働をさらに進めるために、もっと前向...参画が必要である思われる職種はなんでしょうか？

312 件の回答



もっと前向きな参画が必要であると思われる資格は「医師」（42.3%）、続いて「看護師」（18.9%）、「薬剤師」（12.2%）であった。

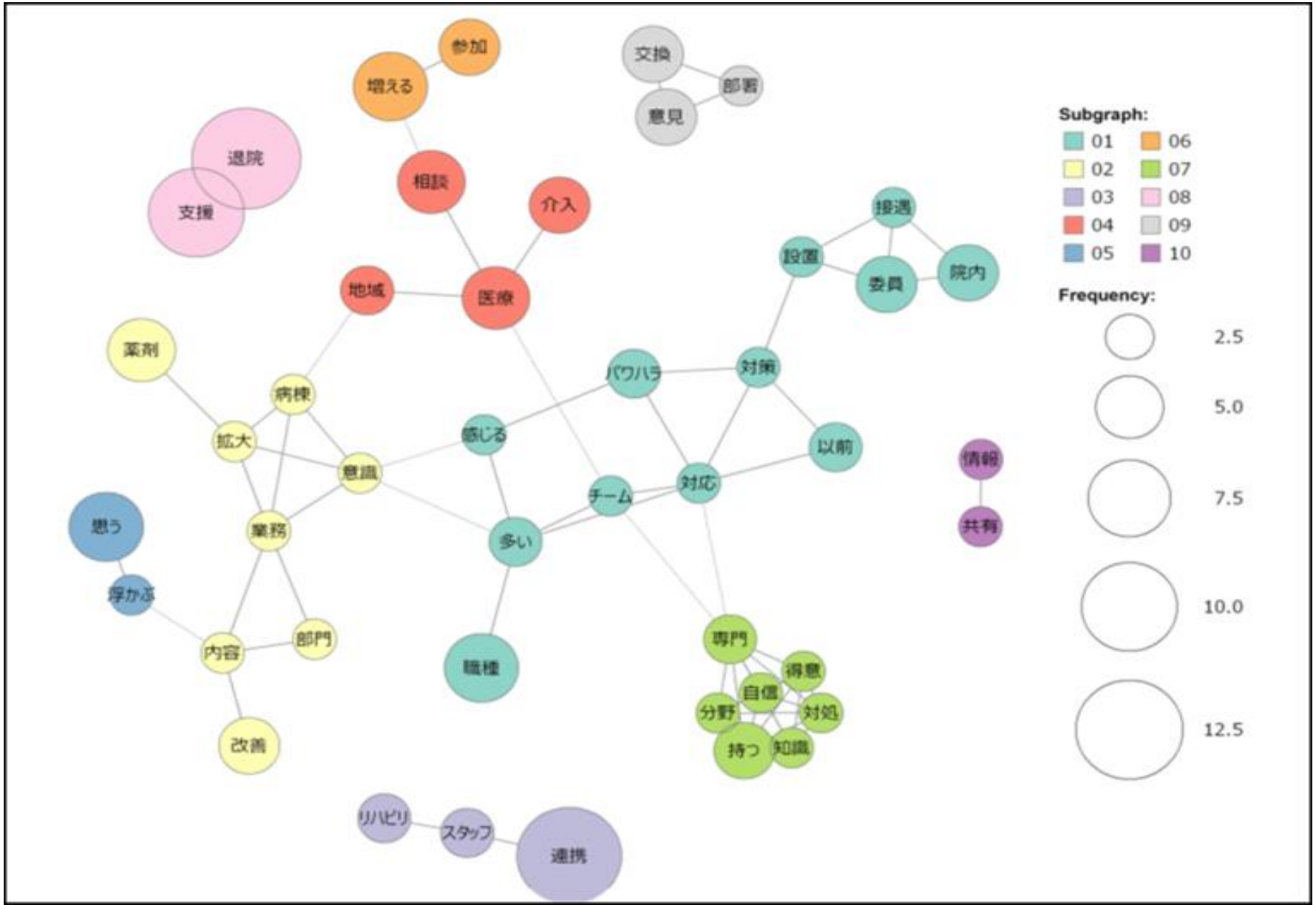
自分の職場では、昨年から今年にかけて多職種連携（チーム医療）に関して改善されたと思う。



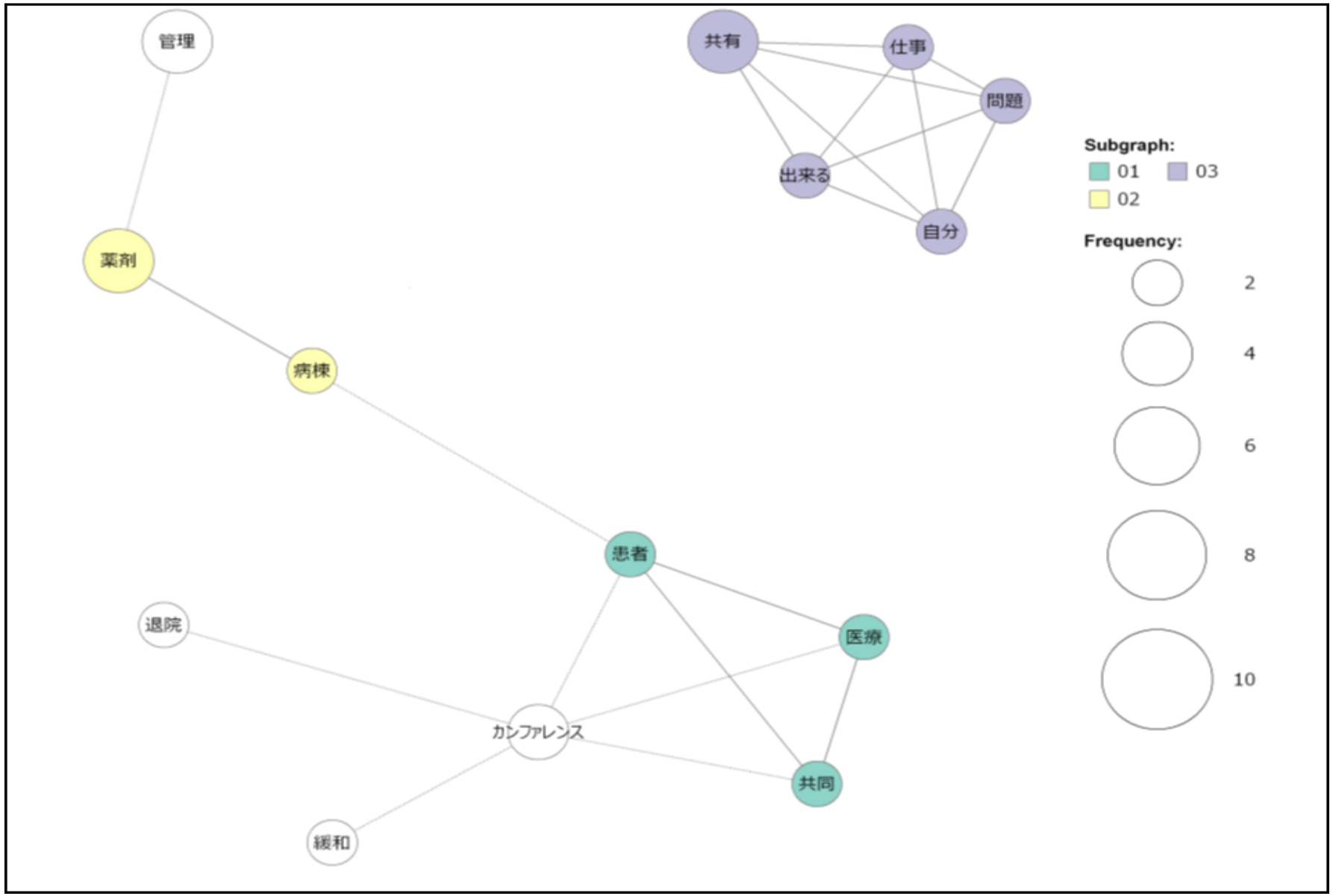
昨年から今年にかけて多職種協働（チーム医療）について「改善されたこと」はなんでしょうか。（自由記載）

- 95件の回答があった。
- 「特にない」「変わらない」「わからない」…30件
- 「退院支援への連携の質が向上している」「退院調整」「退院支援」…12件
- 「他職種が参加するカンファレンスが増えた」「カンファレンスが充実してきた」…16件
- 「接遇・ハラスメント委員会の設置」「パワハラが生じにくい(許さない)環境へと変化していると感じています」ほか
- 「院内連携を活用する機会が増えた」
- 「地域医療連携室とは密に介入してもらっている」
- 「薬剤管理に関して責任の所在や協力的言葉が聞かれる」「持参薬」「リハビリスタッフとの連携」「ケアマネ参加」「心電図を救急でとってくれるようになった」ほか
- 「他職種が行なっている事等を意識する事が多くなったと感じる」
- 「連携をとれていない部門と協働し業務内容の改善を行うことができている」
- 「発言しやすくなった」

「改善された」の共起ネットワーク



昨年から今年にかけて多職種協働（チーム医療）について「改善されなかったこと」はなんでしょうか。（自由記載）

・93件の回答があった。
・「特にない」「わからない」…18件
・「医師とのコミュニケーション」「全ての医師と連携がとれたとは言えない」「医師の参加」「緩和ケアが医師の協力が得られにくい」…19件
・「持参薬管理」「薬剤師の不足　看護師がくすりの管理や説明などしている」「病棟にもっと薬剤師が介入して欲しい」…16件
・「退院支援」「退院支援について目標や手段がバラバラ 関心のない職員が多い」
・「なんでも言える環境でない」「ハラスメント」「自由な意見」「すべてに対して何事も平等でない」
・「自職種保守」「自部署の仕事ではないという意識」
・「課題として指摘された当事者が自分のこととは感じていない」
・「業務量」「記入書類の多さ」「人員不足」「話し合いの時間の確保」
・「専門看護師がその領域に専従できていない」

「改善されなかった」の共起ネットワーク